

2019~2020年度



岩手大学 海外留学体験報告



**A Glance at
Our Study Abroad
Experience**

目次

トビタテ！留学JAPAN（全国版・地域版）

Page

4

「自然が豊かな岩手県における、木質バイオマス資源の利用による循環型社会の実現をスウェーデンから学ぶ」
スウェーデン（トビタテ！地域版）

6

「インクルーシブ教育の充実に向けて」
オーストラリア（トビタテ！地域版）

8

「地域に根ざしたICT教育～児童の未来を支え、教員に負担の少ない社会を創る～」
オーストラリア（トビタテ！地域版）

交換留学

10

「北の国ロシアに降りたって」
ロシア サンクトペテルブルク国立文化大学

12

「コロナ禍でのカナダへの交換留学」
カナダ セントメアリーズ大学

14

「充実したソウル留学」
韓国 明知大学

16

「勢いで行った中国留学」
中国 曲阜師範大学

18

「中国・寧波で過ごした半年間」
中国 寧波大学

Page

20

「韓国での生活」

韓国 明知大学

22

「Puean Program～CLILを用いた教育実習～」

タイ サトリーワットアブソーンサワンスクール

24

「悠々自適な留學生活」

中国 西北大学

🐥 短期留学 🐥

26

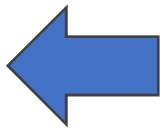
「Puean program プアンプログラム」

タイ

🐥 動画での留学体験報告 🐥

動画

【2020 岩手大学国際月間-Iwate University International Month-】



YouTube 再生リスト



「自然が豊かな岩手県における、木質バイオマス資源の利用による循環型社会の実現をスウェーデンから学ぶ」



留学先： スウェーデン／ベクショー／リンネ大学

留学期間： 2019年9月～2020年1月（5ヶ月）

氏名： 柴田史那

留学した時の学年： 4年

学部・研究科名： 理工学部

学科・課程名・コース名： 化学生命理工学科

●留学の内容

今後の産業の発展には持続可能なエネルギーの利用の促進が重要であると考え、岩手県は森林資源が豊富であるため、木質バイオマスの利用が有効であると考えた。よって、岩手県で木質バイオマス利用を促進するため、木質バイオマスを扱う企業への見学やインターンシップを行った。事前・事後は共に「紫波グリーンエネルギー株式会社」さんの元でインターンシップを行った。留学先では、環境に関する講義を受講すると共に、バイオマスエネルギーを専門分野としている教授へのインタビュー、エネルギー会社の「VEAB」さんへの企業見学、バイオマス資源を利用した製品開発を行っている「ストラエンソ」さんへの企業見学を行った。

●留学の動機

私は化学工学を専門としており、将来は化学工学の視点から環境問題の解決に貢献したいと考えている。スウェーデンで木質バイオマスエネルギーがどのように導入されてきたのか知ること、岩手県の木質バイオマスエネルギー利用の発展に応用したいと考え留学を決めた。

●留学の成果

留学中の活動を通じて、林業における規模の違いや、市民の意識の差において、日本とスウェーデンの違いを感じた。そのことから、岩手では、地域分散型の事業を進め、地域に還元できるようなモデルを設置し、住民にバイオマスエネルギーや環境問題を身近に感じてもらう環境作りを進め、日本におけるバイオマス利用の先駆けとなるように地域の活性化を図る事が良いと結論づけた。

●スペシャルエピソード

150人規模のジャパニーズディナーパーティ（JDP）を15人ほどの日本人学生と企画・運営した。3ヶ月かけて準備し、お弁当タイプの夕食の提供、日本独自のダンスパフォーマンス、縁日を行った。私は食事班を務め、当日は4時半に集合し、16時までお弁当を作った。パーティーの間、みんなから料理最高だったよ！という声をかけてもらい、達成感を感じた。

●これから留学したい人へアドバイス

新しい環境で一から居場所を築くのは容易ではありませんが、めげずに日々努力を積み重ねることで、大きな達成感と自信を得ることができると思います。

●留学費用について

①総費用：100万円

（内訳 渡航費 20万円、宿舍費 25万円、食費 8万円、保険料・OSSMA 6万円、SIM 2万円、交通費 8万円、日用品 3万円、雑費 3万円、娯楽 5万円、旅費 20万円）

②費用負担：留学奨学金 100万円

③現地で使ったお金の割合：現金 2%、クレジットカード（VISA） 98%

●留学先宿舍について

・形態：大学寮

・家賃額：月5万円（光熱水費含む）

・参考情報：ベット・机・棚・トイレ・シャワーは各部屋にあり。キッチン・リビング・ダイニングは共有。ランドリールームは予約制。掛け布団・敷き布団・枕・シャワーカーテン・キッチン用品などは各自用意。宿舍はきれいで広い。

●語学力について

・現地で使用した言語：英語（スーパーなどではスウェーデン語）

・語学レベルUP：基礎的な日常会話が可能→英語の講義の概要を理解でき、一般的な日常会話が可能/基礎的なスウェーデン語

・適正レベル：CEFRでB2レベルは必須

●ネット環境及びその他の参考情報

・レポート作成は私物パソコン、授業はタブレットを使用。スマートフォンはSIMカードを現地で購入し利用。スーパー・カフェではWifi使用可能。

・事前準備や持ち物：バンドエイド・化粧品・歯ブラシ（現地のものはサイズが大きかった）・常備薬・日本食（昆布だしは便利）

●留学中の主なスケジュール

曜日／日程	午前	午後
月曜/1日目	授業、学食ランチ	授業、友達とカフェ、ショッピング、図書館でレポート
火曜/2日目	↓	↓
水曜/3日目		
木曜/4日目		
金曜/5日目	↓	↓
土曜/6日目	睡眠	友達とカフェ、ショッピング、料理、図書館でレポート
日曜/7日目	掃除・洗濯	友達とカフェ、ショッピング、料理、図書館でレポート



大学の外観



大学の学生団体主催のオーロラツアー



ジャパニーズディナーパーティ開催

「インクルーシブ教育の充実に向けて」



留学先： オーストラリア／クイーンズランド州／ケアンズ／Cairns College of English & Business, 私立小中高一貫校
留学期間： 2019年9月～2020年3月（6か月間）

氏 名： 和野 彩月
留学した時の学年： 4年
学部・研究科名： 教育学部
学科・課程名・コース名： 学校教育教員養成課程特別支援教育コース

● 留学の内容

障害の有無に関わらず共に学ぶというインクルーシブ教育を研究のテーマとしました。

私立の小中高一貫校で中高等部において、日本語教師アシスタントとしてインターンシップをさせていただきました。他にも、ラーニングサポート、小学部の日本語の授業、放課後学童や附属された幼稚園で補助をさせていただきました。ラーニングサポートでは英語やビジネスの授業に加えてもらい、対象の生徒を1対1でサポートをしました。また、インクルーシブ教育に関わる教師の教育的意図についてインタビューを行いました。

● 留学の動機

3年時に、元々関心のあったインクルーシブ教育について、国によって取り組み状況が異なると知りました。まだまだ障害のある子どもを分けて見える日本の教育に、疑問を抱いたまま教師にはなれないと思いました。自分なりの答えをもってから教育現場に出るため、今回の留学を決意しました。

● 留学の成果

国内外両方で、幼い頃から一緒にいることで対象の子どもへの理解があり、その子どもが支援を受けていることが周りにとって極めて自然であるという印象が得られました。また、ただ一緒にいればいいのではなく、一緒にいるために必要な部分を補うのが、特別支援教育の多様な学びの場なのだと理解できました。

● スペシャルエピソード

語学学校に2カ月通い、英語に多少の自信をもった状態で実践校に入り込みました。日常英語と学校の中で使われる学問的な英語は全くレベルが異なり、4カ月の実践がこなせるのか非常に不安に思いました。しかし実践校の先生方は、拙い英語でも歓迎してくださり、何ができて何ができないのか「正直でいることが大切だ」と仰ってくださいました。飾らず誠実でいることを大切に実践を行いました。

● これから留学したい人へアドバイス

人生80年時代と言われますが、ただひたすら自分のやりたいことをやる留学ができる機会は、どのくらいあるでしょうか。留学を躊躇する理由は山ほどありますが、留学をしないことと、その後の人生60年に生きる学びを得られないこと、どちらの損失が大きいでしょうか。また、海外に出たから何かを学べるのではないと思っています。トビタテ留学japanでは、申請時から自分が何をしたいのかと向き合うことを求められました。そのことによって、留学前から沢山の学びを得ました。自分の問題意識とそれを解決するための具体的な手立てを考えることでより良い学びに繋がります。計画は最終的に破綻しても構いません。事前から自分と向き合うことが留学の一つの価値であると考えます。

●留学費用について

①総費用：114万円

（内訳 渡航費9万円、学費27万円、家賃28万円、食費12万円、ビザ・保険料11万円、生活用品4万円、旅行費8万円、お土産代他7万円）

②費用負担 自己負担50万円（奨学金受給前）、家族からの支援7万円、留学奨学金119万円

③使ったお金の割合：現金20%、クレジットカード（VISA）10%、デビットカード（VISA）70%

●留学先宿舎について

・形態：ホームステイ、シェアハウス

・家賃額：語学学校幹旋ホームステイ4週間約10万円（朝夕食含む）、シェアハウス①週95ドル、シェアハウス②週130ドル（エアコン代含む）

・参考情報：ホームステイは場所により別途語学学校へのバス代が発生。シェアハウス①は女性専用。洗濯機の使用に毎回3ドル必要。台所用品完備。扇風機あり。エアコンなし。自転車の貸し出しあり。ボンドは2週間分で退出時に返却。アジアの女性が多い。シェアハウス②は無料の洗濯機、乾燥機あり。台所用品完備。

●語学力について

・現地で使用した言語：英語

・語学レベルUP：話す能力→拙い日常会話から、不自然な間なしに社会的な話題を話せるレベルに向上。
聞く能力→英検準1級のリスニング問題の正答率が50%から95%に向上。

・適正レベル：学問的な英語を理解し、易しい英語に噛み砕いて説明できるレベル。英検準1級満点レベル。

●ネット環境及びその他の参考情報

・私物パソコン・SIMロック解除済みのスマートフォン・現地SIM入手まで日本国内とオーストラリア国内で使用できるSIM“AIS”・オーストラリアでの現地SIMはBELONGがおすすめ・大半のホームステイ先やシェアハウスがwifi完備

●留学中の主なスケジュール

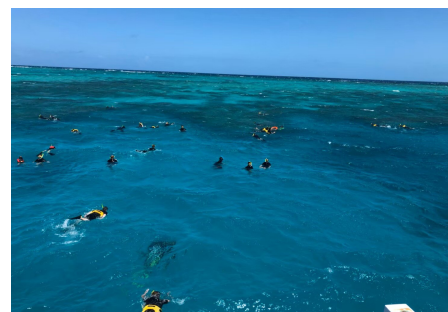
曜日／日程	午前	午後
月曜/1日目	実践校で授業補助	実践校で授業補助、学童補助、予習
火曜/2日目	実践校で授業補助	実践校で授業補助、学童補助、予習
水曜/3日目	実践校で授業補助	実践校で授業補助、学童補助、予習
木曜/4日目	実践校で授業補助	実践校で授業補助、学童補助、予習
金曜/5日目	実践校で授業補助	実践校で授業補助、学童補助、外食
土曜/6日目	ツアー参加、友人と外出	外出、勉強
日曜/7日目	リラックス、買い出し	外出、予習



お世話になったホストファミリー。
ホームステイは最初の1か月だけでしたが、半年間ずっとよくしてくれました。



語学学校のクラスメイト。
英語能力は然ることながら、人としても尊敬できる教養人達でした。



グレートバリアリーフでのシュノーケリングの様子。自然観光が豊かなオーストラリアで、環境保護の意識が芽生えました。

「地域に根ざしたICT教育

～児童の未来を支え、教員に負担の少ない社会を創る～」



留学先： オーストラリア／メルボルン、ブリスベン、ゴールドコースト

留学期間： 2019年 9月～1月末 （約5か月）

氏名： 千葉 さりな

留学した時の学年： 4年

学部・研究科名： 教育学部

学科・課程名・コース名： 学校教育教員養成課程

●留学の内容

始めは、語学学校に通い、その後オーストラリアの小学校で教員アシスタントとしてインターンを行った。ICT教育に関わる留学で、“ICT先進国であるオーストラリアの学校教育はどのようなになっているのか”を学び、日本の教育でICT使って効果的に授業するための方法を探った。留学中は、モナシュ大学のICT教育に関する授業に参加したり、小学校で日本の文化を教える教員として授業を行ったりと、アシスタント以外にも多くのことを経験することができた。

●留学の動機

小学校での教育実習で外国語活動の授業を行う際、電子黒板を使ったが、思うように扱えず不安を抱いた。また、教職員もICT教育への不安を抱えていることを知り、自分自身がICTスキルを身につけ、教員の一助として貢献するために、ICT教育先進国であるオーストラリアへの留学を決意した。

●留学の成果

オーストラリアの小学校では各教室電子黒板が設置されていて、生徒一人一台タブレットを使って学習できる環境が整っていた。アシスタントとして毎日子供たちとIT環境の中で過ごした学校生活は実りあるものとなった。

●スペシャルエピソード

クリスマスは、ホストファミリーと、そして年越しは花火を見ながら、海で過ごした。日本と季節が真逆で文化も異なる国でのイベントはとても新鮮だった。日本の冬が苦手なら、夏が終わったらオーストラリアに行くと、1年間暖かい気候の中で過ごすことができます。

●これから留学したい人へアドバイス

留学を決意したら、是非日本の文化を学んでから飛び立って欲しいです。海外に行っている人と交流するときに自分が日本の文化をたくさん知っていると海外での生活にいきてくると思います。例えば、アニメの話、日本の音楽、伝統文化や折り紙など、海外の人はとても興味をもってくれます。ここから、友達の輪が広がって留学生活に良い影響をもたらすはずです。

●留学費用について

①総費用：120万円

(内訳 渡航費15万円、学費45万円、宿舍費30万円、光熱水費5万円、食費5万円、ビザ・保険料10万円、お土産代他10万円)

②費用負担 自己負担 20万円、留学奨学金90万円

③使ったお金の割合：現金 30%、クレジットカード (VISA) 70%

●留学先宿舎について

・形態：シェアハウス、ホームステイ

・家賃額：月 額 4万円 (光熱費含む)

・参考情報：シェアハウスは、自身でサイトを通して家主に連絡し、下見や金額、期間の交渉を行ってから決めました。ホームステイに関しては、留学代理店の方で手配してもらいました。

●語学力について

・現地で使用した言語：英語

・語学レベルUP：授業で発言でき、意見や考えを述べられる程度

・適正レベル：授業で発言でき、意見や考えを述べられる程度

●ネット環境及びその他の参考情報

必需品 ・私物パソコン、スマートフォン、腕時計、筆記用具、ボールペンなど

(普段使用している洗顔などを持っていくと安心だと思います。また、筆記用具は日本製品がとても良いので持っていくと良いです。冬は、ホットアイロンを持っていくと便利です。)

●留学中の主なスケジュール(小学校インターン編)

曜日	午前	午後
月曜	8時半～ 授業アシスタント、ランチ	授業アシスタント ～16時退勤
火曜	〃	〃
水曜	〃	〃
木曜	〃	〃
金曜	〃	〃
土曜	友達と出かけるor 運動	ショッピング
日曜	友達と出かけるor 運動	月曜日の学校準備



トビタテ会

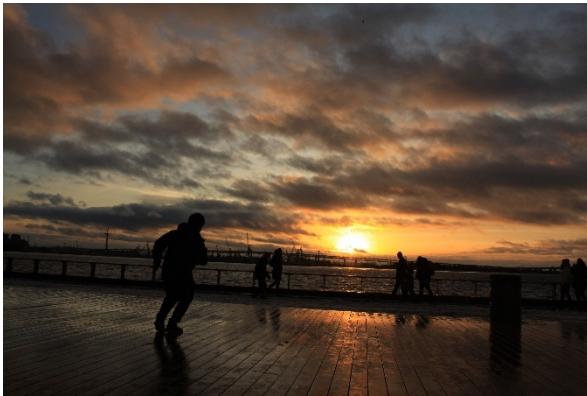


小学校の授業の様子



友達との1枚

「北の国ロシアに降りたって」



留学先：ロシア連邦／サンクトペテルブルク
/サンクトペテルブルク国立文化大学
留学期間：2019年9月～
2020年6月末

氏名：佐藤奎吾
留学した時の学年：4年
学部・研究科名：人文社会科学部
学科・課程名・コース名：人間文化課程

●留学の内容

- ・岩手大学の協定先のサンクトペテルブルク国立文化大学との語学交換留学。
- ・基本的にはロシア語の勉強（マンツーマン形式）。
- ・あとは自由時間が結構多い。

●留学の動機

- ・大学生活を終える前に海外の文化に触れつつ生活をしてみたかった。
- ・自身の最初の海外体験がロシアでありもう一度訪れたかった。
- ・異文化のなかで自分がどこまで適応できるのか試してみたかった。

●留学の成果

- ・必要以上に物怖じすることがなくなった。
- ・結局は相手も人間なので人種、肌の色は関係ない。
- ・留学終盤にはロシア語で考える方がはやくなった。

●スペシャルエピソード

- ・最初の思い出がロシア行きの飛行機でCAさんに手にパンを擦りつけられて起こされたこと。
- ・年越しの際、広場で現地人の1対1のダンスバトルに巻き込まれた。
- ・冬、川面を覆い尽くす流氷に圧倒された。

●これから留学したい人へアドバイス

- ・最低でもロシア語初級レベルを習得しておくこと。
- ・サンクトペテルブルクは本当に雨が多いので傘が必須。
- ・基本的にカード社会だが、現金しか使えない店もあるので、キャッシングできるカードを持っていくと便利。

● 留学費用について

① 総費用：1,368,810円

(内訳 渡航費183,410円、学費564,000円(岩手大学の授業料)、宿舍費75,000円(10ヶ月、光熱水費含む)、食費30,000円(1ヶ月)、ビザ代行手数料9000円・保険料+OSSMA 108,400円、エイズ検査料10,000円、通信料19,000円、その他10万円(寝具、雑貨、ETC.))

② 費用負担 自己負担80,000円、親からの支援50,000円×10ヶ月、留学奨学金50,000円

③ 使ったお金の割合：現金10%、クレジットカード90%、トラベルプリペイドカード0%

● 留学先宿舍について

- ・形態：大学寮
- ・家賃額：半年 37,500円(光熱費含む)
- ・参考情報：家具設備(机、本棚、タンス、ベッド)、利用できる施設(音楽室)、宿舍の特徴(古い、多国籍、冬暖かいです。)

● 語学力について

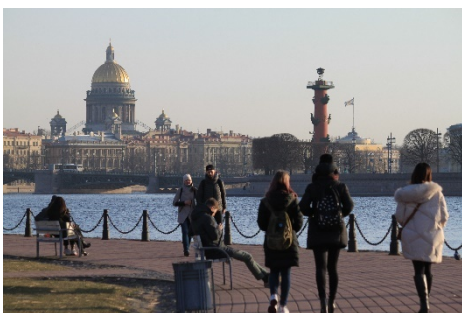
- ・現地で使用した言語：ロシア語
- ・語学レベルUP：ロシア語初心者から、日常会話が問題なく出来るぐらいまでには
- ・適正レベル：最低でもロシア語初級。

● ネット環境及びその他の参考情報

- ・寮にWIFI環境はないので現地でコンパクトWi-Fiを買うことになるでしょう。
- ・SIMフリースマホは必須。
- ・留学先の先生が上記の2点の購入を手助けしてくださるので大丈夫。
- ・出かける際は必ずパスポートと滞在登録証明書を携帯すること。(警察に質問を受ける事があるので)

● 留学中の主なスケジュール

曜日/日程	午前	午後
月曜/1日目	休息	会話クラブに参加
火曜/2日目	ロシア語の授業	ロシア語の授業、授業の復習
水曜/3日目	ロシア語の授業	カフェで食事&復習
木曜/4日目	ロシア語の授業	ロシア語の授業、他大学の会話クラブに参加
金曜/5日目	留学先の授業に参加	友人とレストランで食事
土曜/6日目	現地の小学生に日本語を教える	友人たちと散策
日曜/7日目	休息	読書



友人と散策



会話クラブ帰り



エルミタージュ美術館の近くにある青銅の騎士像

交換留学

「 コロナ禍でのカナダへの交換留学 」



留学先： カナダ／ノバスコシア州／
ハリファックス／セントメアリーズ大学
留学期間： 2019年9月～2020年3月
氏名： 山口大河
留学した時の学年： 3年
学部・研究科名： 人文社会科学部
学科・課程名・コース名： 人間文化課程

●留学の内容

岩手大学の交換留学制度を通して、協定校であるカナダのセントメアリーズ大学に約7ヶ月間留学しました。交換留学なので、岩手大学に学費を支払うだけで海外私立大の授業を受けることができます。現地では、私の専攻である宗教学・ジェンダー学を中心に、その他にも哲学・社会学・心理学の授業を履修しました。予想を遥かに上回る予習の量、英語ネイティブとのディスカッション、そして中間・期末テストと本当に本当に本当にきつい事の連続でしたが、本気で何かに熱中する事で人間として成長することができたと感じました。

●留学の動機

宗教学とジェンダー学の知識を深めるためです。宗教学は、岩手大学では学べないため留学に行く必要がありました。また、ジェンダー学は、多様性文化が根付いているカナダで日本以外からの視点を得たかったからです。

●留学の成果

約20年間の人生で一番成長できた期間だったと思います。世界各国から夢を持って学びに来る学生と、日本の受験期よりも勉強することが当たり前の中環境の中に身を置くことで、自分が如何に小さな人間だったのかを知りました。彼らの頑張りに置いていかれたくないというのが日々のモチベーションです。

●スペシャルエピソード

本気で勉強し、そして本気で遊びました！授業は大変ですが、それ以外の時間は世界中から来た友達と睡眠を削ってまで遊びました(^o^) セントメアリーズ大学は、留学生が全校の約30%を占める大学なので、地球の北から南まで友達を作ることができますよ(^o^) また、コロナの感染拡大時にカナダにおり、強制帰国になり本当に大変でした。。。気楽にお聞きください！

●これから留学したい人へアドバイス

留学を一つの選択肢として考えてみると良いと思います！4年間の大学生活は時間が限られているので、自分にとって何が成長するための最善の手段なのかを考えることが重要だと思います。部活動、学生団体、長期インターン、本当に色々あると思います。その中でも留学は、マイノリティとなり辛い経験をすることで視野を広げることが出来るものだと思います。そして、何より世界中の人と話すことで、新たな価値観を知ることができて楽しいです！

●留学費用について

- ①総費用：220万円（-56万円：月8万円のJASSO奨学金×7ヶ月）
 （内訳 渡航費30万円（コロナでフライトがキャンセルになったため高額）、学費54万円（岩手大学への授業料）、宿舍費・光熱水費・食費100万円、ビザ・保険料5万円、TOEFL IBT受験費用10万円、その他20万円）
 ②費用負担 自己負担30万円、親からの支援135万円、留学奨学金56万円
 ③使ったお金の割合：現金10%、クレジットカード90%（3枚持って行きました）

●留学先宿舍について

- ・形態：大学寮
- ・家賃額：月額15万円（3食・光熱費・WIFI含む）
- ・参考情報：1人部屋か2人部屋か選べる。家具付き（机、椅子、ベッド、クローゼット、扇風機）、トイレ・シャワー共用、寝具はないため要購入、ほとんどの留学生在寮に住むため超多国籍、長期休暇中は別途で滞在費を取られるため、ヨーロッパへ旅行に行きました。

●語学力について

- ・現地で使用した言語：英語
- ・語学レベルUP：留学前：授業中、集中して聞いても理解度50%
 留学後：授業中、意識せずにも内容が耳に入ってきて、発言もできる
- ・適正レベル：TOEFL IBT 80以上と強い気持ちと明るさ！80以下だと、別途で超超超高額な授業料を払って9割が日本人の語学学校に行かなければならないため、留学前に80を取ると、より充実した留学生活になると思います。私も始めは55点くらいでしたが、バイト・遊び等全てを絶って半年間勉強しました。55点の私でもできたので、可能なことだと信じています！

●ネット環境及びその他の参考情報

- ・至るところにWIFIがあるので渡航前のネットの契約は必要ないと思います。そして何より、カナダは盛岡とは比にならないほど寒いので防寒具は必須です。。。

●留学中の主なスケジュール

曜日／日程	午前	午後
月曜/1日目	宗教学の授業、予習	宗教学、哲学、ジェンダー 学の授業、予習
火曜/2日目	予習	心理学の授業、予習
水曜/3日目	宗教学の授業、予習	宗教学、哲学の授業、予習
木曜/4日目	予習	心理学の授業、予習
金曜/5日目	びっくりするくらい寝る	友達と遊ぶ
土曜/6日目	教会、ジムに行く	友達と遊ぶ
日曜/7日目	友達とご飯、予習	予習



寮の玄関前で友達と



りんご狩り



誕生日を祝ってもらった

交換留学

「充実したソウル留学」



留学先：韓国／京畿道／ソウル／明知大学

留学期間：2019年3月～12月（1年）

氏名：鈴木 愛

留学した時の学年：2年

学部・研究科名：人文社会科学部

学科・課程名・コース名：人間文化課程

異文化間コミュニティ専修プログラム

●留学の内容

・・・3月から6月の前半は、留学生在が受ける韓国語初級の授業を中心にとり、夏休みは大学に付属している語学堂の中級クラスに1か月半程度通った。語学堂は月曜～金曜日の9時から13時までで、読む・聞く・話す・書く勉強をまんべんなく行い、費用は10万円程度だった。9月から12月の後半は、韓国語の上級の授業に加えて、日本についてや韓国の歴史についての授業を一般の学生とともに履修した。

●留学の動機

・・・好きなK-POPの歌手が話す韓国語を理解したいと思い、高校生の時から留学に興味を持っていた。大学1年生の時に日韓協働研修に参加し、韓国人の友達が出来たことで、韓国語でコミュニケーションを取れるようになりたい、もっと韓国の文化を知りたいという思いが強くなり留学を決めた。

●留学の成果

・・・韓国人の友達と街に出かけたり、旅行に行く中で韓国の文化を学ぶことができた。また、宿舎や語学堂が多国籍だったため、いろんな国の人と話すうちにさまざまな知識が増えた。もちろん共同生活なので合わない部分もあったが、それが逆に異文化交流について考える良い機会になり、視野が広がったと感じる。

●スペシャルエピソード

・・・大学が出している弘大からの無料シャトルバスの存在を知らずに、2か月ほど交通費を損していたので、明知大学に行く際には参考にしてほしい。韓国の大学祭は、有名な歌手やアイドルが来たり、花火があがったりして本当に楽しいので、是非いろんな大学祭の日程を調べて足を運んでみてほしい。

●これから留学したい人へアドバイス

・・・留学を迷っている人へ→交換留学できる時間とチャンスはいつでもあるわけではないと思うので、機会を逃さないでほしいと思う。・一年行か迷っている人へ→私は韓国に行って半年が過ぎた時、あまりに楽しくて一年間にして良かったなと思った。・半年間留学する人へ→3月から行く方が、寒くなく、留学生向けのイベントも、街のイベントも多い気がするため、思い出をたくさん作れるのではないかなと思う。

●留学費用について

①総費用：162万円

(内訳 渡航費4万円、学習費2万、語学堂費10万円、宿舍費66万円、食費30万円、ビザ・保険料11万円、趣味等35万円、交通費4万円…)

②費用負担 自己負担10万円、親からの支援31万円、留学奨学金70万円、貸与型奨学金51万円

③使ったお金の割合：現金40%、クレジットカード(VISA) 60%

(家賃が現金支払いだったためこの割合だが、日常生活では90%はクレジットカードで支払っていた。)

●留学先宿舍について

・形態：明知大学が勧める共同アパート

・家賃額：月額 約6万5千円 (Wi-Fi、水道代、電気代を含む) 保証金 約5万円

・参考情報：ベッドフレーム(布団は別)、ライト、机、いす、物干し、冷蔵庫付き。キッチン、洗濯機共同(ラーメン、コーンフレーク、パンなど食べ放題)壁が薄い。部屋によって広さがかなり違う。繁華街にあり移動も買い物も便利。日本語のできる管理人が日中勤務。

●語学力について

・現地で使用した言語：韓国語

・語学レベルUP：TOPIKⅡの3級に満たないレベルから留学中5級に合格

・適正レベル：簡単な日常会話と、ハングルの読み書きができれば普通に生活は出来る。

●ネット環境及びその他の参考情報

・レポート課題を家でやるためにはパソコンが必要。携帯電話は日本で使っていたiPhoneに、現地のJKモバイルで契約したSIMを入れて使用。SIMを契約すると、KTのWi-Fiが大体どこでも使えるようになり、韓国の電話番号が手に入る。私は一年で1万2千円程度しか費用がかからなかった。

●留学中の主なスケジュール

曜日/日程	午前	午後
月曜/1日目	授業、大学周辺でランチ	授業、課題
火曜/2日目	休息	友達と勉強
水曜/3日目	授業、大学周辺でランチ	授業、友達と勉強
木曜/4日目	友達と勉強	授業、弘大で遊ぶ
金曜/5日目	休息	課題
土曜/6日目	友達と遊ぶ	友達と遊ぶ
日曜/7日目	友達と遊ぶ	友達と勉強



語学堂のクラスメイト



サークルの友達とお花見



交流会の友達と漢江ピクニック

「勢いで行った中国留学」



留学先：中国／山東省／曲阜市／曲阜師範大学
 留学期間：2019年 3月～2020年1月（1年）
 氏名：齋藤 アスカ
 留学した時の学年：4年
 学部・研究科名：教育学部
 学科・課程名・コース名：教員養成課程

●留学の内容

・・・中国語の能力向上のため留学した。おもな授業内容は、文法、リスニング、作文、口語、HSKの内容であった。宿泊は、大学先の留学生寮に泊まり、授業も留学生寮で行われる。朝8：00～12：00までの授業があり、午後は自由時間になる。連休は中国国内を友達と旅行することもできる。

●留学の動機

・・・動機は、まず自身が国語科に所属していたため、漢文の分野で役立てることができると考えたため。また、教授からお声がけを頂いたことが主な動機になる。

●留学の成果

・・・まずは、中国語のスキルがとて高くなったことである。私は留学前は中国語に関しての知識があまりない状態で留学したが、1年間の留学でコミュニケーションには困らない程度にまで伸びた。また、たくさんの留学生と関わることで、彼らの価値観や生活習慣、宗教についての知識も深められたと思う。そして、間違えることに対して恥ずかしいというような感情が薄くなったことが、成果として挙げられることだと思う。

●スペシャルエピソード

・・・困ったことは、日本円を現地で中国元に変えられなかったことだ。曲阜は想像よりも田舎の方であったし、新しい政策の面でこのようなトラブルにあった。また、自分のケータイの周波数と現地の周波数が合わないことから、現地で違うケータイを購入したことである。

スペシャルエピソードは、修学旅行があったことである。希望する留学生が西安に旅行することができた。加えて安価であったことがとてもラッキーなものであった。自分ではいかないうな所まで行けたのは貴重な体験だと思う。

●これから留学したい人へアドバイス

・・・留学で迷っているのであれば、ぜひ行くべきです！！今しかできないことを逃したら一生できないと思います。そして、将来絶対自分の強みになります。不安なこともあると思いますが、それよりも楽しいことや価値があることが待っています。チャレンジ精神で向かってみてください！！

●留学費用について

①総費用：100万円弱

（内訳 渡航費（片道）4万円弱、学費岩大1年間分、宿舍費（半年）5万円弱、食費（1か月）1600円、ビザ・保険料3万円ぐらい）

②費用負担 自己負担 30万円、親からの支援0円、留学奨学金 60万円

③使ったお金の割合：クレジットカード（三井住友）5%、支付宝（現地の決済アプリ）95%

※クレジットは航空券の購入の際のみ使用

●留学先宿舎について

・形態：留学生寮

・家賃額：半年 額 5万弱 3000元弱（高熱・水道費含む）

・参考情報：家具はそろっているが、石鹸やシャンプーは自分で用意する必要がある。また、相部屋が基本。多国籍であるが、階によって同じ地域の人たちがまとまっている。

●語学力について

・現地で使用した言語：中国語

・語学レベルUP：HSK5級レベルまで上達した（普段のコミュニケーションには困らないレベル）

・適正レベル：一般的な挨拶ぐらいはできていれば困らないと思う

●ネット環境及びその他の参考情報

・私物パソコン（WIFIは部屋に完備）、モバイルバッテリー、マスク、ティーバッグのお茶、インスタントの味噌汁、あれば電子辞書、マイ箸、タンブラー、薬

・キャリアバッグは最大のものを買きましょう。ケータイのSIMは解除していきましょう。現地の気候を調べて服装を決めていくと便利です。

●留学中の主なスケジュール

曜日／日程	午前	午後
月曜	8:00～12:00まで授業	昼寝、ジムで運動、夜ご飯、勉強、シャワー、就寝
火曜	8:00～12:00まで授業	昼寝、ジムで運動、夜ご飯、勉強、シャワー、就寝
水曜	8:00～12:00まで授業	昼寝、ジムで運動、夜ご飯、勉強、シャワー、就寝
木曜	8:00～12:00まで授業	昼寝、ジムで運動、夜ご飯、勉強、シャワー、就寝
金曜	8:00～12:00まで授業	昼寝、ジムで運動、夜ご飯、勉強、シャワー、就寝
土曜	昼まで寝る	勉強、友人と遊ぶ、ジムで運動、シャワー、就寝
日曜	昼まで寝る	勉強、友人と遊ぶ、ジムで運動、シャワー、就寝



兵马俑博物馆正面



実際の兵马俑



曲阜駅の写真

交換留学

「中国・寧波で過ごした半年間」



留学先：中国／浙江省／寧波／寧波大学

留学期間：2019年8月～2020年1月（半年間）

氏名：笠原 彩未

留学した時の学年：3年後期

学部・研究科名：人文社会科学部

学科・課程名・コース名：人間文化課程

主専修 英語圏文化専修プログラム

●留学の内容

大学構内にある寮で生活をしながら、学校に通っていました。平日は主に他の国の留学生たちと一緒に中国語の授業を受け、語学力の向上に努めていました。休みの日は、友達と遊びに出かけたり、長期の休みになると、国内旅行もしていました。語学を学ぶだけではなく、中国の様々な場所に足を運ぶことで、文化や歴史にも触れることが出来たと思います。

●留学の動機

1年生の頃に第2言語で中国語を選択していました。その後、2週間の中国短期研修プログラムへの参加を経て、中国語をもっと学びたいという気持ちと、中国現地で生活してみたいという憧れが強くなっていました。留学するなら大学生の今の時期しかない、との思いも自分の中であつたので、このチャンスを逃すまいと留学を決めました。

●留学の成果

はじめは、挨拶程度の中国語しか言えず、聞けず、という語学レベルだったのですが、授業で習ったことを全て吸収する勢いで望んだり、それ以外の日常の中でも中国語に触れるように意識をしたことで、リスニング力はかなり上達しましたし、まだまだではありますが、スピーキングもレベルアップすることが出来たと実感しています。

●スペシャルエピソード

中国の旧正月を友達の家で過ごしたことです。その中でも、朝からお母さんが、一から生きている鶏をさばいていたことが印象的でした…。生活様式や、文化も当然違うけれど、それを楽しめる良い機会だったし、友達の家族や親戚の方がとても優しくしてくれたことや、毎食美味しいご飯を振る舞ってくれたことも嬉しかったです。

●これから留学したい人へアドバイス

留学に行く、となると最初は不安に思うことや悩みも多くあるかもしれません。けれど、いざ帰国する頃には、滞在期間をあと半年伸ばしたい…と思えるくらい、留学には楽しいこと、得られるものが沢山あります。行かなくて後悔することはあっても、行って後悔することは絶対ないので、もし今迷っている人がいたら、その迷いを捨てて飛び込んでみてほしいです。

●留学費用について

①総費用：約50万円

(内訳 渡航費12万円、学費0円、宿舍費10万円、光熱水費5千円、食費8万円、ビザ・保険料4万円、お土産代8万円、国内旅行費用8万円)

②費用負担 自己負担3万円、親からの支援17万円、留学奨学金30万円(月6万円×5ヶ月)

③使ったお金の割合：現金5%、クレジットカード (VISA)95%(海外キャッシングにて現金引き出しの際に使用)、スマホ決済 95%⇒引き出した現金を中国で開設した銀行口座に預金し、その銀行口座と携帯とを紐付けて、スマホ決済が出来るようにしていたので、お店では現金やカードを使って支払うことはほぼしていませんでした。

●留学先宿舍について

・形態：大学の寮

・家賃額：1ヶ月約2万円(光熱費は含みません)

・参考情報：最初に2人部屋か1人部屋にするか、選ぶことが出来ます。私は1人部屋を選びましたが、部屋に机と椅子、ベット(かけ布団、枕、シーツあり)、シャワー、トイレ、洗面台、冷暖房が完備されており、キッチン、冷蔵庫、洗濯機と乾燥機は共用部にある、という感じでした。また、留学生の寮なので、様々な国の人が住んでいます。ちなみにですが、週に1回寮のおばちゃんが部屋を掃除しに来てくれました。

●語学力について

・現地で使用した言語：中国語

・語学レベルUP：授業は先生がほとんど中国語を使うので、リスニング力は向上すると思います。その反面、授業内ではスピーキングの時間が多くあるわけではないので、授業外のところでも、自分から話すように意識をすれば、スピーキングのレベルも上がってくると思います。

・適正レベル：個人的には、HSK 4級を取得してから行くと、より有意義な留学になるのではないかと思います。私は受けたことがなく、持っていませんでしたが、周りの日本人では持っている子が多かったです。

●ネット環境及びその他の参考情報

・スマホや、パソコンを使うにしても、中国は、wi-fiの他にVPNがないと、日本で使えるようなGoogleや、LINE、instagramが使えないので、事前に日本でVPNの契約をしておく必要があります。また、現地では、SIMカードを新たに挿入して携帯を使う事になるので、日本に在る間に、事前に自分の使用している端末のSIMロック解除をしておくことも必須です。

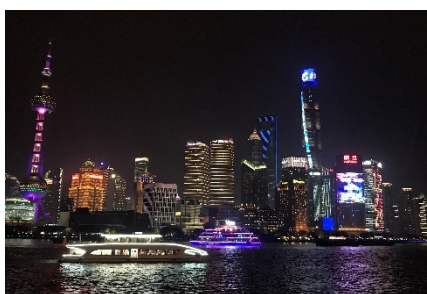
・電圧が違うので、ヘアアイロンなどの家電用品を持って行く場合は、世界対応のものにすると楽だと思います。

●留学中の主なスケジュール

曜日／日程	午前	午後
月曜/1日目	リスニングの授業	中国語総合の授業
火曜/2日目	中国語総合の授業、スピーキングの授業	友達と遊ぶ、中国ドラマを見る
水曜/3日目	リスニングの授業	中国語総合の授業
木曜/4日目	中国語総合の授業、スピーキングの授業	友達と遊ぶ、友達とご飯を食べる
金曜/5日目	授業なし。たまに日本語を教えに行く	1週間の復習や、中国ドラマを見る
土曜/6日目	買い物、観光、映画鑑賞など	友達と出かける、ご飯
日曜/7日目	洗濯、買い物、課題をやる	幼稚園児に日本語を教える時もある



友人らと一緒にご飯



上海と言えばここ！夜景が綺麗な外滩



一番仲良しの友達と一緒に

留学のタイトル：「韓国での生活」



留学先：韓国／ソウル／明知大学
留学期間：2019年 9月～ 12月
氏名：深澤真有
留学した時の学年：2年
学部：人文社会科学部
課程名：人間文化課程

●留学の内容

・・・ソウルにある明知大学との交換留学。
明知大学の授業を現地の生徒と韓国語で受ける。
授業は現地生徒が受けるものと、留学生向けの韓国語を勉強するものをとった。

●留学の動機

・・・中学生の頃から留学に憧れを持っていた。高校、大学を過ごす中で韓国に興味を持ち、留学先は韓国にしたいと思うようになった。

●留学の成果

・・・韓国語の勉強を意欲的に行うようになった。分からない文法・単語が出てきた際、または自分が表現しようとしても出来なかった際には勉強し、使って伝わるか試すことで、韓国語力の自信につなげた。

●スペシャルエピソード

・・・明知大学の授業以外の自主学習として、宿泊先近くのカフェに通っていた。深夜2時くらいまで勉強していたら、カフェの店員さんがサーブスでパンやドリンクのサイズアップをしてくださった。感動したエピソードはまだまだあるがそのどれもが優しさを感じるもので、人に恵まれたなかで留学できたと感じている。

●これから留学したい人へアドバイス

・・・韓国(特にソウルのような観光都市)は日本語を話せる人が多い。意識的に韓国語を使おうとすれば、より身に付きやすいと思う。
・・・人によると思うが、私は韓国の水と相性が悪く、髪が以前よりもきしみやすくなった。愛用している製品があれば持って行った方が良いと思う。

●留学費用について

①総費用：60万円

(内訳 渡航費(往復)約2万円、宿舍費(光熱費込)約26万円、食費約20~25万円、ビザ・保険料約5万円、Wi-Fi1万2000円、※学費に関しては交換留学のため岩手大学の学費に含まれている)

②費用負担 自己負担約20~25万円、親からの支援10万円、留学奨学金(月7万×4)28万円

③使ったお金の割合：現金40%、クレジットカード(楽天) 60%

※現金をおろす際にLINEPAYを使用した。日本の口座にお金を入れたまま韓国で出金できる。

●留学先宿舍について

・形態：シェアハウス

・家賃額：月4万3000円(光熱費含む)

・参考情報：台湾・韓国・日本にある施設を持つボーダーレスハウスというところ

「ボーダーレスハウス 韓国」と調べると詳しい情報が出てくる。

●語学力について

・現地で使用した言語：韓国語

・語学レベルUP：日常生活が出来る程度に上達したと思う。韓国語の動画は以前より聞き取れるようになった。

・適正レベル：韓国に興味があればよ出来ると思う。勉強する意欲が湧くと思うため。

●ネット環境及びその他の参考情報

・半年であってもSIMカードの使用がおすすめ。「JKモバイル」というところは、日本人スタッフがいるのでおすすめ。

韓国にFreeWi-Fiが多いのは確かだが、いざ使いたい時にはたいていなかった。

・パソコンは課題や宿泊先での動画視聴もできるため持って行く方が良いと思う。

●留学中の主なスケジュール

曜日/日程	午前	午後
月曜/1日目	韓国語の授業、ランチ	ショッピング、カフェで勉強
火曜/2日目	友達と遊ぶ	ハウスで勉強
水曜/3日目	韓国語、韓国文化の授業、ランチ	カフェで勉強
木曜/4日目	友達と遊ぶ	ハウスで勉強
金曜/5日目	韓国語の授業、ランチ	ハウスで過ごす または 友達と遊ぶ
土曜/6日目	ハウスで過ごす または 友達と遊ぶ	カフェで勉強
日曜/7日目	ハウスで過ごす または 友達と遊ぶ	ハウスで勉強



仲良くなった留学生と韓服



サービスでもらったクロワッサンとホットミルク



オンニたちとご飯

留学のタイトル：「Puean Program～CLILを用いた教育実習～」



留学先： タイ／バンコク／Wat Nuannoradit, Satri Wat Absornsawan school

留学期間：2020年 1月5日～ 1月19日（2週間）

氏名：小林夏子

留学した時の学年：4年

学部・研究科名：教育学部

学科・課程名・コース名：学校教育教員養成課程

・小学校教育コース英語サブコース

● 留学の内容

Puean Programは、教育学部の学生がタイのsecondary school(日本の中学生～高校生にあたる子ども達が通う学校)で、CLIL (Content and Language Integrated Learning) という教授法を用いた授業実践を行うプログラムです。私は期間中に、自然災害についての授業を8回行いました。英語で授業を行うことが基本ですが、日本語を第三言語として学習しているクラスでは、日本語でも授業を行います。滞在は実習先に通う生徒の家でのホームステイで、タイの文化をより身をもって体感することが出来ました。

● 留学の動機

私は岩手県の小学校で教員として働くという夢を持っています。小学校でも外国語が教科として本格的に導入された今、自身の英語力と、授業力の向上が必要であると考えました。また、タイ語が分からない私が、日本語の分からない学生を相手にした授業を行うことに面白さを感じ、この留学に参加しました。

● 留学の成果

1番の成果は、自信を持って授業を行えるようになったことです。1つの授業を改良を加えながら何度も行えることがこのプログラムの魅力です。授業で用いる英語はもちろんですが、授業力も向上させることが出来たと思います。ホストファミリーともよい関係を築くことができ、タイにも私の家族が出来ました。

● スペシャルエピソード

タイの方々の明るさに救われた2週間でした。授業をする上で、彼らの楽観的でちょっぴりルーズな部分に悩まされたりもしましたが、最終的にはそんな彼らの優しさや100点満点の笑顔に助けられました。どんなことでも笑いに変えてしまう様な、そんな考え方がとても素敵だなと感じました。タイの人たちの人柄や文化を身をもって体験することが出来ました。全くもって関係ない話ですが、私の顔の作りがタイ人寄りらしく、よくタイ語で話しかけられました。

● これから留学したい人へアドバイス

このプログラムは、校種を問わず教職を目指す人に強くお勧めします。模擬授業ではなく、実際に子どもたちを前にして授業を行える機会はとても貴重です。教職以外の道を目指す人にとっても、自身の成長を感じられる有意義な時間となることは間違いありません。

●留学費用について

①総費用：156,610円

(内訳 渡航費 63,690円(荷物代込み)、国内移動費 30,000円、成田前泊 5,500円、ホームステイ 22,000円(宿泊日数×2,000円)、お小遣い 20,000円、保険代 4,180円、OSSMA 3,240円、ポケットWi-Fi 8000円)

②費用負担 自己負担 86,610円、留学奨学金 70,000円

③使ったお金の割合：現金100%

●留学先宿舎について

- ・形態：ホームステイ（現地学生の家）
- ・家賃額：2週 額 22,000円/宿泊日数×2,000円（熱費や基本的な食費含む）
- ・参考情報：自分たちが授業を行う学校に通う生徒の家でのホームステイです。環境は家庭によって様々です（個室の有無、シャワーが温水かどうか etc.）。しかし、ホテル泊よりも安く、タイの文化を身をもって体感できるのがこのホームステイの魅力です。

●語学力について

- ・現地で使用した言語：英語、日本語
- ・語学レベルUP：英語を学習する派遣ではないため、飛躍的に向上したとは言えませんが、Classroom Englishや、英語での日常会話がはじめよりもスムーズに出てくるようになったように感じます。
- ・適正レベル：簡単な日常会話と、自身の授業の題材についてクリアな説明が英語のできるレベル。

●ネット環境及びその他の参考情報

- ・実習校や引率の先生が持参してくださるWi-Fiもありますが、ステイ先にあるかはわかりません。観光等外出先でも連絡を取れるようにポケットWi-Fiの持参をお勧めします。
- ・授業のスライドやワークシートなどは授業毎に改善していくことになるので、パソコンは必須です。
- ・ホームステイ先やお世話になった方へ配れるような日本からのお土産は持って行ったほうがいいです。足りなかったときのために、メッセージカードとして使える折り紙も持っていくと安心です。

●留学中の主なスケジュール

曜日／日程	午前	午後
平日	授業、授業参観	授業、授業参観、ホストファミリーとの時間
休日	ホストファミリーや実習校の先生方と観光、買い物	ホストファミリーや実習校の先生方と観光、買い物

・平日はほぼ実習先にいることになります。休日は実習校の先生方やホストファミリーと観光や買い物ができます。



溺愛ホストシスターとの涙のお別れ。
たった二週間でしたが、メンバー全員涙を流しながらのお別れでした。



今回の派遣メンバー。
大変な時でも、高めあえる仲間がいるのは心強かったです◎



My sweet students.♡

留学のタイトル：「悠々自適な留学生活」



留学先：中国／陝西省／西安／西北大学

留学期間：2019年 9月～2020年 1月

氏名：諏訪 佑成

留学した時の学年：4年

学部・研究科名：教育学部

学科・課程名・コース名：学校教育教員養成課程

●留学の内容

・・・中国語の授業を受けるのがメインでした。私の場合、授業が午前中だけだったので午後は昼寝をしたり、卓球をしたりと悠々自適な毎日を送っていました。専門の授業も受けたかったのですが、聞き取りに難があったので、最初の半年間は中国語の学習に専念していました。半学期を過ごし、中国語力もだいぶ向上し、残りの半年間を頑張ろうと言うときに、コロナウィルスの影響で留学の継続をあきらめざるを得なくなっていました。

●留学の動機

・・・留学した動機は中国の思想史に興味があったからです。また卒業論文で中国語の文献を読む必要性も感じたので留学を決めました。

●留学の成果

・・・なんと言っても中国語が格段に上達しました。約半年ほど、日本で中国語を学習して留学しましたが、最初はまったく聞き取れず、通用しませんでした。半年間毎日のように中国語を使い続けた結果、日常生活では問題の無いくらいに語学力が上がりました。

●スペシャルエピソード

・・・日本ほどトイレが発達していないので何度もトイレを詰まらせました。スポンを使って詰まりを解消するのですが、このスポンの扱いが難しく、コツを掴むことに時間がかかりました。トイレの詰まりを自力で解消できるようになったことも留学の成果かもしれません。

●これから留学したい人へアドバイス

・・・少しでも行きたいという思いがあれば、迷わずに行くことをおすすめします。目標や動機が曖昧でも、行くこと自体に意味があると思います。私自身留学前は行くことに不安やあり、「行くことに意味はあるのか」と悩んだ時期もありましたが、行ってみるとそんな不安や悩みは吹き飛びました。なのでとりあえず行ってください（笑）

●留学費用について

①総費用：70万円

（内訳 渡航費12万円、学費28万円、宿舍費7万円、光熱水費1万円、食費7万円、ビザ・保険料5万円）

②費用負担 自己負担、親からの支援40万円、留学奨学金 毎月120,000円

③使ったお金の割合：現金5%、クレジットカード（カード名）0%、携帯電子マネー95%

●留学先宿舎について

- ・形態：ホテル
- ・家賃額：半学期 150,000円（光熱費含まない）
- ・家具設備：ベッド、テレビ、机、トイレ、シャワー
- ・利用できる施設：ホテルの中にキッチンがあります。（料理はしないと思います）
- ・宿舎の特徴：決してきれいとは言えませんが、一人部屋なので快適です。ホテル以外だと、二人部屋の「四号楼」という所と、大学寮があります。

●語学力について

- ・現地で使用した言語：中国語
- ・語学レベルUP：話す力、聞き取る力が格段に伸びました。
- ・適正レベル：中級
初学者レベルでも問題ありませんが、ある程度できるようになってから留学した方が経験できることも多いと思います。

●ネット環境及びその他の参考情報

- ・大学内や部屋にWi-Fi環境が整っています。携帯は日本で使用していたものをSIMカードだけ換えれば使えます。ラインや日本のサイトを利用したいのであれば、VPNを契約する事をおすすめします。
- ・基本的な生活日用品は揃えられるので、自分が愛用している物以外は持って行かなくてもいいと思います。

●留学中の主なスケジュール

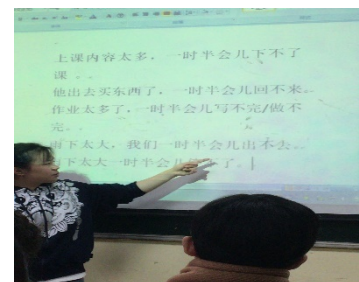
曜日／日程	午前	午後
月曜	中国語の授業、学食ランチ	昼寝、予習、友達と遊ぶ
火曜	中国語の授業、学食ランチ	昼寝、予習、卓球
水曜	中国語の授業、学食ランチ	昼寝、予習、卓球
木曜	中国語の授業、学食ランチ	昼寝、予習、友達とゲーム
金曜	中国語の授業、学食ランチ	昼寝、予習、卓球
土曜	中国語の勉強	学食ランチ、買物、友達とゲーム
日曜	睡眠	中国語の勉強、買物



写真①コメント：帰国直前の集合写真



写真②コメント：四川に旅行した際に見たパンダ



写真③コメント：授業

短期留学

留学のタイトル：「Puean program プアンプログラム」



留学先： タイ／バンコク／Wat

留学期間： 2020年1月5日～1月19日（2週間）

氏名： 國井絢斗

留学した時の学年： 3年

学部・研究科名： 教育学部

学科・課程名・コース名： 小学校教育コース英語サブコース

●留学の内容

プアンというのは友好という意味で、当該のタイの学校と岩手大学の交流としてこのプログラムは行われている。私たちは、タイの中学生と高校生に、CLILと呼ばれる英語で、内容に焦点を置くスタイルで英語の授業を行なった。参加した学生は生徒の家か、教師の家にホームステイを行なった。授業は大学で用意したものを現地で生徒の状況やってみての反省点を基に改善を行なった。

●留学の動機

私は、自らのコミュニケーション能力と授業力の向上を目指し、このプログラムに参加した。

●留学の成果

タイの生徒の中には、英語を聞き取ることに困難を持つ生徒が多くいて、そのような生徒にもよりわかりやすい言葉やジェスチャーを使うと言ったコミュニケーション力、予期しない状況に柔軟に対応する力がついた。

●スペシャルエピソード

私は、去年と同じホームステイ先に泊めていただいたのだが、ホームステイファミリーが去年と同観光ルートだと面白くないだろうということで、シュノーケリング体験や、大きなアミューズメントパークに連れいていただいた。

●これから留学したい人へアドバイス

留学をする時には、目的意識がとても重要だと私は思っています。どんな期間であれ、貪欲に学ぼう、吸収しようとする姿勢によってどれだけのものを日本に持ち帰ることができるかが変わるんだと思います。あと、それぞれの国で違った文化があるので、優劣をつけようとするのではなく、その国の文化を敬意を持って体感し、改めて日本の文化を捉え直すことができるといいのかなと思います。あとは、伝える意欲と笑顔。

● 留学費用について

① 総費用 110,100円

（内訳 渡航費 63,700円、宿舍費、食費 24,000円、ビザ・保険料 7,400円、お土産代他 15,000円）

② 費用負担 自己負担 30,000円、親からの支援 20,000円、留学奨学金 60,000円

③ 使ったお金の割合：現金100%

※現地では全部現金、飛行機は前払いしました。

● 留学先宿舍について

・形態：ホームステイ

・家賃額：1日 2,000円（食費含む）

・参考情報：家具設備充実、シャワー：お湯出る、水：ペットボトル

● 語学力について

・語学レベルUP：クラスルームイングリッシュの向上、言語、非言語での伝える力の向上

・適正レベル：最低限のクラスルームイングリッシュ、日常での英語、英語わからない生徒に伝える工夫

● ネット環境及びその他の参考情報

・私はポケットWi-Fiを空港で借りて、持って行きました。ホームステイ先は基本あったはずですが。

● 留学中の主なスケジュール

曜日／日程	午前	午後
月曜/1日目	現地着	歓迎会
火曜/2日目	授業研究	実地授業、授業見学、授業準備
水曜/3日目	実地授業、授業見学、授業準備	実地授業、授業見学、授業準備
木曜/4日目	実地授業、授業見学、授業準備	実地授業、授業見学、授業準備
金曜/5日目	実地授業、授業見学、授業準備	実地授業、授業見学、授業準備
土曜/6日目	観光	観光
日曜/7日目	観光	観光



最高の海、二モ見ました



象との触れ合い



お別れの会



多言語多文化交流空間

Iwate University Global Village
グローバルビレッジ

Iwate University Global Village（岩手大学グローバルビレッジ）とは？

「地域に顕在化した諸課題をグローバルな視点から解決し発信できる人材の育成」を目的として、2016年4月学生センターB棟1階に開設しました。

グローバルビレッジでは

- ・英語などの各種外国語学修支援
 - ・国際交流・異文化体験・日本文化紹介など、留学生と日本人学生との各種交流
 - ・イベントによる多文化理解促進
 - ・地域で活躍するグローバル人材による講演
 - ・地域コミュニティとの国際交流活動
- など、楽しく、ためになるイベントを開催しています。詳しくはカレンダー、Web情報をご覧ください。

どんな人が参加するの？

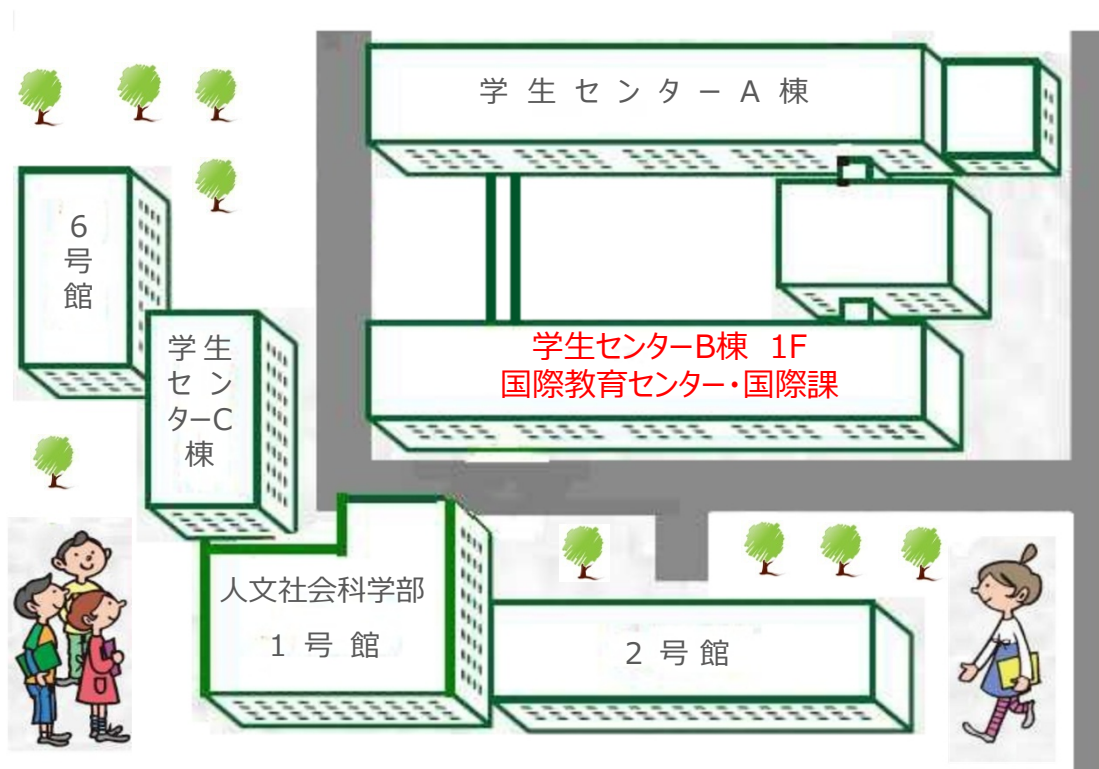
「留学生や様々な国の友達を作りたい」、「日本・岩手の文化を留学生に紹介したい」、「英語・多言語を使って異文化体験を試みたい」、「語学力をもっと鍛えたい」、「地域で活躍するグローバル人材とつながりたい」、そんな岩手大学の皆さんにお勧めです。一般の方にも参加いただけるイベント・講演会なども開催します。



詳しくはこちらまで：

♣ 岩手大学グローバルビレッジホームページ 🍏
<http://iuic.iwate-u.ac.jp/gv/event/>





留学に関心のある方、いつか留学してみたいという方を対象に個別相談を行っています。また「トビタテ！留学JAPAN」の申請サポートも行っています。希望する方は、メールで相談予約をしてください。

【お問い合わせ先】

国際教育センター 尾中 夏美

電子メール： onaka@iwate-u.ac.jp

※相談希望日時をメールで第3希望までお知らせください。



お問い合わせ先

岩手大学国際教育センター
(学務部国際課)



岩手大学の国際交流

Iwate University International Office

住所：岩手県盛岡市上田三丁目18-34

電話：019-621-6057

電子メール： gryugaku@iwate-u.ac.jp

Web: <http://iuic.iwate-u.ac.jp/>



国際月間

岩手大学

November 2020



10. 24 SAT
25 SUN

11. 2 MON

5 THU
6 FRI

19 THU

26 THU
27 FRI

30 MON

期間中実施！

- ・海外派遣・国際交流プログラム参加体験展示 @学生センターB棟フリースペース
- ・国際×Health ウォーキングで世界一周を 目指そう
- ・オンデマンド型海外留学体験報告会
- ・オンデマンド型教職員語学研修成果報告会



5日・26日
Japanese College Fair
ONLINE



19日 12:15~13:00
IELTS オンライン説明会



場所：グローバルビレッジ
又はZOOM参加（要・事前申込）

30日 13:00~



海外協定校向け岩手大学
IU-SEPオンライン説明会

6日 16:50~
岩手大学留学説明会(ZOOM)

場所：グローバルビレッジ/
又はZOOM参加（要・事前申込）



27日 16:50~18:30
英語スピーチコンテストTrial版

場所：学生センターB棟多目的室



★調整中(未定)
・北東北国立三大学イベント
「トビタテ！留学JAPAN留学報告会ONLINE」



←国際月間のイベント詳細は岩手大学交際交流の
ウェブサイト特設ページからご覧ください！

▼岩手大学国際交流の最新情報はこちら▼

Home Page



Twitter



YouTube



Facebook



Instagram



English Time

英語の個別指導
を受けよう！（要
予約）



Global Village
イベント最新情報
はこちらから

～イベントは予告なく変更する場合があります。最新情報は上記の HP・SNS でご確認下さい。～

【国際月間用 動画まとめサイト】



留学を経験した岩大生が語っています！インタビュー版、
パワポスライドでの説明版の両方があります。ぜひご視聴
ください！



岩手大学国際交流YouTube
2020 岩手大学国際月間
Iwate University International Month



掲載コンテンツ

- オンデマンド型海外留学体験報告会
- 海外協定校向け岩手大学IU-SEP（交換留学プログラム）オンライン説明会
- オンデマンド型海外留学経験卒業生と留学希望学生とのオンライントーク
- オンデマンド型教職員語学研修成果報告会



岩手大学国際交流のSNS もご覧ください！！

留学や様々なイベントに関する情報が
盛りだくさん！

Facebook Twitter YouTube



Website



Instagram



岩手大学国際交流
019-621-6076/6057
iuc@iwate-u.ac.jp

